

渡辺 大輔 WATANABE Daisuke
埼玉大学基盤教育研究センター 准教授

専門はセクシュアリティ教育。主な著書に『性の多様性ってなんだろう？(中学生の質問箱)』平凡社、2018年、『セクシュアルマイノリティをめぐる学校教育と支援(増補版)』開成出版、2012年(共編著)。

塚原伸治 TSUKAHARA Shinji
埼玉大学大学院理工学研究科 准教授

専門は脳科学・行動神経内分泌学。主な著作「脳の性分化」裳華房、2006年(分担執筆)、「脳とホルモンの行動学」西村書店、2010年(分担執筆)、他に国際学術論文を多数執筆。

小宮 友根 KOMIYA Tomone
東北学院大学経済学部 准教授

専門はエスノメソドロジー/会話分析、ジェンダー論。主要著作は『実践の中のジェンダー』(新曜社、2011年)、『概念分析の社会学 2』(共編著、ナカニシヤ出版、2017年)など。

田代 美江子 TASHIRO Mieko
埼玉大学教育学部 教授

専門分野はジェンダー教育学、近現代日本における性教育の歴史研究。主な編著書は、『教科書にみる世界の性教育』(編著、かがわ出版、2018年)、『国際セクシュアリティ教育ガイドランス』(ユネスコ編、共訳、明石書店、2017年)、『ハタチまでに知っておきたい性のこと』(編著、大月書店、2014年)。

2019年1月27日(日)
12:30 開始(12:00 受付)

会場 | With You さいたま(埼玉県男女共同参画推進センター)

※事前申し込み不要、参加費無料

司会 | 小林 亜子(埼玉大学人文社会科学研究科 教授)

挨拶 | 堀田 香織(埼玉大学 副学長[男女共同参画担当])

登壇 | 渡辺 大輔 「性の多様性」をめぐる教育の課題

塚原 伸治 生命科学の視点から「こころの性」を考える

小宮 友根 性の何が多様なのか
—社会現象としての性別について

討論 | 山崎 敬一(埼玉大学人文社会科学研究科 教授)

田代 美江子

性の多様性

埼玉大学は2019年に創立70周年を迎えます。教養学部・人文社会科学研究科では節目の年を記念して「埼玉大学創立70周年記念リベラルアーツ連続シンポジウム」を2019年1月から11月にかけて開催いたします。

第2回は「性の多様性」と題し、学内外より脳科学、共生教育、社会学という異なる領域の専門家をお招きし、それぞれの視点から最新の研究知見を報告していただくとともに、討論を通して参加者と共に「性の多様性」について議論していきます。

共催 | 埼玉大学教養学部、人文社会科学研究科、
埼玉県男女共同参画推進センター
後援 | 埼玉大学脳末梢科学研究センター
お問い合わせ | 048-858-3044

アクセス |
JR 京浜東北線・高崎線・宇都宮線「さいたま新都心駅」
徒歩5分 / JR 埼京線「北与野駅」から徒歩6分。ホテルブリランテ武蔵野の3・4階(詳細はHPをご参照ください)。
<http://www.pref.saitama.lg.jp/withyou/access.html>